

経済的で、短工期、そして高品質の集合住宅を実現

■中高層PCa住宅構法とは

12～15階程度の集合住宅に最適です。

高耐力部材(高強度コンクリート、高強度太径鉄筋、高強度せん断補強筋)を採用し、RC造を可能にする構法です。

高品質・高精度のプレキャスト(PCa)部材を搬入・組み立てる構法で、現場での型枠・鉄筋工事がなくなります。

■工法の特徴

従来のSRC造の集合住宅に比べ鉄骨がなくなるため、経済的です。

PCa部材を使用することにより、現場作業の省力化と平準化が図られ、高品質の集合住宅を短期間に提供することができます。

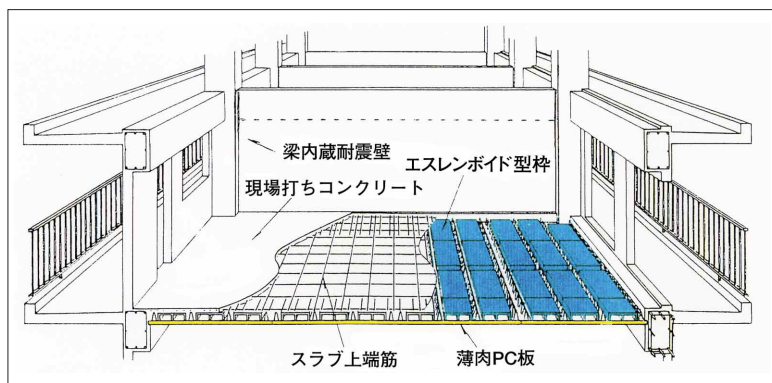
コスト・工期・敷地条件などにより、ケースバイケースで工場製作PCa化工法，サイトPCa化工法の選択が可能です。

一般に梁間方向の梁は、連層耐震壁より張り出していますが、梁内蔵型PCa連層耐震壁を採用しているため、梁型が室内に張り出さず家具の収納性・利便性に優れたシンプルな室内空間を形成しています。

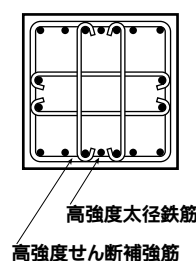
日本建築センターの評定・評価により、SRC造と同等以上の建物の耐震性能を確認しています。



ハーモニータウン新取手

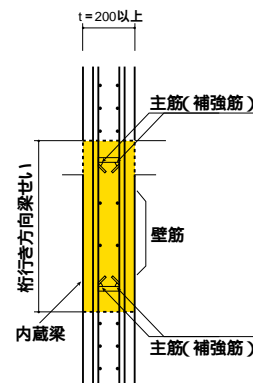


構法全体図



高強度太径鉄筋
高強度せん断補強筋

高耐力柱



梁内蔵型PCa連層耐震壁

■適用対象

- ・12～20階程度の板状タイプの集合住宅
- ・SRC造で設計された集合住宅で、経済的なRC造に変更可能なもの

■施工実績

ハーモニータウン新取手(14階)、ロイヤルヒルズ東戸塚(11階)
エステスクエア本厚木(14階)、ファミリーハイツ草津(12、15、21階)
セントポーリア武庫之荘(13階)など

このリーフレットは、再生紙を使用しています。